

2022年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム（第1会場）

8月28日（日）		
時間	座長	報告課題・報告者
09:00 09:05	（水産研究・教育機構） 神山龍太郎	特別セッション（1-1～1-5） 趣旨説明：「世界の水産物貿易と日本の輸出戦略」 婁小波（東京海洋大学）
09:05 09:30		1-1. 輸出における日本水産物の競争力 若松美保子（東京海洋大学）
09:30 09:55		1-2. 中国水産物貿易の展開とその構造変化 李欣（上海海洋大学）
09:55 10:20	（漁港漁場漁村総合研究所） 浪川珠乃	1-3. ホタテガイ輸出の構造的変化 高橋祐一郎（農林水産省農林水産政策研究所）
10:20 10:45		1-4. 輸出力とイノベーションー水産加工機械に着目してー 久保田純（農林水産省農林水産政策研究所）
10:45 11:10		1-5. 水産物輸出支援の課題と輸出振興戦略 原田幸子（東京海洋大学）
11:10 11:15		休 憩
11:15 11:40	（東京海洋大学） 松井隆宏	1-6. 海洋産業とその構造変化の国際比較 姚微（東京海洋大学大学院）・婁小波（東京海洋大学）
11:40 12:05		1-7. ソロモン諸島におけるコミュニティ主体の沿岸資源管理の挑戦 飯沼光生（アイ・シー・ネット株式会社）
12:05 13:00		休 憩
13:00 13:25	（国際農林水産業研究センター） 宮田勉	1-8. 鮮魚のパッケージへの鮮度、味、レシピの表示を消費者はどう評価するかーグループインタビューと選択実験の結果からー 神山龍太郎・世古卓也・石原賢司（水産研究・教育機構） 若松宏樹（農林水産政策研究所）
13:25 13:50		1-9. メタ分析による水産物エコラベルのプレミアムの検証 西浦なな・大石太郎（東京海洋大学）
13:50 14:15		1-10. 養殖生産魚種多様化が与える経営に対する影響の検証 金澤拓海（東京海洋大学大学院）・岩田繁英（東京海洋大学）

※報告時間は17分、質疑応答は8分です。

2022 年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム（第 2 会場）

8 月 28 日（日）		
時間	座長	報告課題・報告者
11:15 11:40	若松宏樹 (農林水産政策研究所)	2-1. 産地・水域での選好の異質性と技術的規制 小川健（専修大学）
11:40 12:05		2-2. スパースモデリングを用いた三重県のブリ定置網漁獲量の推定 山田二久次（三重大学）・大木里夏（元三重大学大学院）
12:05 13:00		休 憩
13:00 13:25	中原尚知 (東京海洋大学)	2-3. 水産物電子商取引（BtoC）の定着における行政支援のあり方に関する一考察—千葉県南房総市の取り組みを事例として— 村井彩子 (農林水産政策研究所コンサルティングフェロー・水産庁)
13:25 13:50		2-4. トラフグ養殖経営の要素市場構造とその特徴分析—長崎県の主産地を事例として— 廖凱（東京海洋大学大学院）・婁小波（東京海洋大学）
13:50 14:15		2-5. 「緑のさかな」を支える持続可能な水産フードシステムのあり方 川辺みどり・婁小波（東京海洋大学）

※報告時間は 17 分、質疑応答は 8 分です。